

作業の省力化が可能なスイートピー新品種「試交31号」の特性

巻きひげがなく省力性に優れ、花色が赤色の品種

背景・目的

- 宮崎県では冬期の豊富な日照条件を生かしたスイートピーの生産が盛んに行われ、その生産量、流通量は全国一となっています。
- 県ではこれまで、葉の先端に巻きひげがないことで、巻きひげを取る作業が不要となる省力性に優れる品種を育成しており、今回新たな花色として赤色の品種を育成しました。

新品種の主な特徴

- 花色は旗弁と翼弁がともにRHSチャート44A (Vivid Red) の赤色の花です。
- 葉の先端に巻きひげがなく、複葉が付きまます。
- 1花房あたりの着輪数は4～5輪で、春咲き性の品種です。

育成経過

- 2015年春に、無巻きひげ品種である「ムジカスカーレット」に、「美々」を交配し、10年をかけて育成した品種です。

表1 「試交31号」と対照品種「ムジカスカーレット」の主な特性比較

品 種		試交31号	ムジカスカーレット
花色	旗弁 (JHSチャートNO.)	44A Vivid Red	50A Strong Red
	翼弁 (JHSチャートNO.)	44A Vivid Red	52B Deep Pink
巻きひげの有無		無	無
一花房当たりの花数		4.0	4.6
開花習性		春咲き性	春咲き性



図1 スイートピー「試交31号」の切り花

新品種の活用方法（又は期待される効果）

- この品種は、花色がこれまでにない希少な赤色であり、花色のバリエーションのひとつとして採用されることが期待されます。
- 普及対象地域・戸数 県内全域 4戸

留意点

- 種子冷蔵期間は4週間です。
- 輪数等の切り花品質は栽培中の管理状況によって変わります。

関連研究成果カード：2025年度整理番号19

関連事業名：時代のニーズに対応したみやざきオリジナル品種の育成事業(県単)

研究期間：2014～2024年度